

平成18年1月26日

報道機関 各位

長野県上伊那広域水道用水企業団

取材の参考資料として、下記のとおりお知らせします。

件名 箕輪ダムの水位の低下について
概要

○現況

昨年8月以降の少雨により、箕輪ダムの水位が低下し、1月26日現在満水位から7.42m低下、貯水率は、満水位の53.66%となっており、過去最低の水位を更新しております。

* これまでの最低水位は、平成14年9月28日で、水位の低下は6.77m、貯水率57.32%。

○対応状況

昨年11月以降、ダムの水位の低下が続いたため、11月下旬から、ダム管理者である伊那建設事務所、受水5市町村（伊那市・駒ヶ根市・箕輪町・南箕輪村・宮田村）と協議を重ねてきました。

対応状況ですが、今年に入っても雨量・積雪量が少なく、また、水道用水のほかに、春からの農業用水の確保も必要でありますので、ダムの貯水量を温存するため、1月15日から、5市町村の自己水源等の活用を図り、箕輪ダムからの取水量を減少（約8%）させてきております。（自主節水）

これからも、引き続き、自主節水を行い、建設事務所や受水5市町村と随時協議を行い、適切に対応したいと考えています。

○箕輪ダムについて

箕輪ダムは、沢川ダム下流域の水害防止等のほか、人口の増加や産業の振興等が見込まれながらも、地下水や湧水等小規模な水道水源しかなかったこの地域に、水道用水を安定して供給することを目的に建設された県営ダムです。

昨年の4月から6月にかけて非常に雨量が少なく、各地で水道用水などの取水制限が行われたことが報じられましたが、全国的には、毎年のようにどこかの地域で渇水による取水制限が行われています。

このような状況の中で、沢川を源流とし、5市町村の水がめである箕輪ダムは、これまで取水に影響するような水位の大幅な低下もなく、5市町村の安定した水道用水の供給源となっております。

* 昭和49年から19年の歳月と総事業費285億円余を投じて平成4年度に完成。

○限りある資源 水を大切に

蛇口をひねれば、いつでもどこでも、好きなだけ水が出てくる水道ですが、水も限りある資源です。改めて住民の皆様が水道の重要性を思い起こしていただければ幸いです。

問い合わせ先 長野県上伊那広域水道用水企業団 Tel 79-1131